



行動制限最小化委員としての取り組みについて

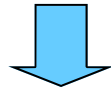
委員 小田 洋子

当院では、隔離・身体拘束の最小化、最適化に向けて、病棟医療チームが隔離・身体拘束が、長期化しているケースに対して、質の高い治療・ケアの提供が出来る事を目的として、行動制限最小化委員会を作り運営しています。

* 行動制限最小化がなぜ必要なのか！！

人間が人間に対して、行動制限することは、社会通念上、また、倫理上、本来決して許されるべき行為ではない。『精神科医療から完全に強制的な治療を排除することは困難である。』

このことが否定できない以上、精神科医療において行動制限は存在し続ける。



可能な限り最小限度にとどめることが必要その基準を定めているのが法律である。

構成は、 医師(必ず精神保健指定医)、 看護師(各病棟1～2名)、 看護補助(各病棟0～1名)
精神保健福祉士

委員会は、毎月第3金曜日の15時30分～師長室で行っています。内容として、以下の～
について、委員会メンバーで話し合います。

病棟から提出された行動制限レポート疑義、改善事項を検討、各病棟で実践、評価を行う。
定期的に各病棟の行動制限状況の把握を行う。

隔離、拘束が長期間に及んだ場合は、その妥当性を検討する。

精神保健福祉法、隔離、拘束の早期解除、危機予防のため介入技術についての研修会の企画
を行い、年2度ほど開催する。

その他、入院患者の行動制限最小化の為の活動を行う。

以上の事から、西2病棟で行っている事を紹介したいと思います。

まずは、スタッフ間で、話し合いを行いました。車椅子の安全ベルトを全員外す時間帯を作り、入浴日、機械浴日以外の3日間(火、木、土)は、朝のトイレ誘導後から昼食後まで椅子やソファに座ってもらったり、歩行可能な患者様はスタッフと一緒に行動を共にするようにしました。スタッフ全員が積極的に関わり、見守りをする事で、興奮も少なくなり表情も良く笑顔が見られる様になりました。

またベッド柵については、体動があり、自ら降りようとしたり、転落、骨折の危険性がある為、柵で周りを囲むように使用していましたが、柵を乗り越えようとする患者様がいるため、再度見直しを行いました。本数を減らすことで転落のリスクも考えられましたが、頻回な訪室、観察をすることで、事故が起きることなく、経過できています。このように、各病棟身体拘束ゼロへ向けて、取り組みを頑張っています。

栄養管理委員会

委員 梅木 しのが



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう
居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス
<http://www.uenokoen-hospital.jp/>
E-mail
uenokoen-hp@giga.ocn.ne.jp

栄養管理委員会とは、患者さん一人一人の栄養状態・患者さんの食事摂取状況・血液検査の結果と体重の割合を比較し、評価します。絶食中の人、褥瘡のある人は毎月、食事摂取している人は3ヶ月毎に評価し、新しく入院した人は1週間以内に評価します。その患者さんが栄養面で不足しているものは何かを、医師・看護師・栄養士で情報を共有し、栄養面からのサポートを行います。受け持ち看護師は食事摂取量が少ない患者さんに対して、医師・栄養士と相談しながら、少しでも食べられるよう工夫しています。栄養士も、患者さんが食事中に病棟に来て、直接見たり聞いたりしながら栄養面のサポートをしています。

栄養管理委員は、書類を作るだけでなく、患者さんが食事を美味しく食べて笑顔が見られ、元気で生活出来ることが喜びでもあります。

お知らせ

高齢者の高額療養費制度改正により、自己負担限度額が平成29年8月より変更となります。

<70歳以上の方の上限額（平成29年8月から平成30年7月診療分まで）>

適用区分		外来(個人ごと)	ひと月の上限額(世帯ごと)
現役並み	年収約370万円～ 標準28万円以上 課税所得145万円以上	57,600円	80,100円+(医療費-267,000)×1%
一般	年収156万～約370万円 標準26万円以下 課税所得145万円未満等	14,000円 (年間上限 14万4千円)	57,600円
非住民税等	II 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
	I 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)		15,000円

左表の赤丸部分が変更された金額となります。入院の必要が生じた方は、ご加入の医療保険から、「限度額適用認定証」又は「限度額適用認定・標準負担額減認定証」の交付を受け、医療機関の窓口で提示することで、窓口での支払いを負担の上限額までに抑えることができます。

作業療法だより

この度の九州北部豪雨により、ご自宅や職場等において被害に遭われた皆様、ご家族やご親族が被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。入院患者さんのなかにも、自宅が被害に遭ったことを家族より聞いたり、連日の様に報道される被害の様子をテレビや新聞で見て心配されている方がいらっしゃいます。復興には、かなりの時間がかかるとは思われますが、前を向いて行かねばなりません。

この様な大変な時期ではありますが、今年も例年通り病棟の盆踊りを開催いたします。当日は病棟を提灯や紅白幕で飾り付け、はっぴを着たりしてお祭りの雰囲気を出しますので、普段は大人しい方も張り切って参加されたり、意外な方が踊ったりされます。また、ご家族の参加もお待ちしています。

開催日時・場所

2階病棟：8月18日(金) 14:30～：西2病棟にて
1階病棟：8月23日(水) 14:30～：西1病棟にて



・・・写真は、昨年の様子です！！